

労働保険の年度更新のお知らせ

令和2年度労働保険（労災・雇用保険）の年度更新期間は、6月1日(月)～7月10日(金)です。最寄りの労働局・労働基準監督署・金融機関で申告・納付してください。

年度更新申告書の書き方および申告・納付方法などの詳細については、年度更新申告書に同封しているパンフレットなどを参照ください。厚労省ホームページでもご覧いただけます。



二次元コード

～労働保険の手続きは「電子申請」をご活用ください～

自宅やオフィスから24時間いつでも申請や届け出が可能です。また、労働保険料の納付は口座振替や電子納付が便利です。

- 労働保険の電子申請手続きは「電子政府の総合窓口（e-Gov）」（<https://www.e-gov.go.jp>）から行うことができます。
- 電子申請を利用するにはマイナンバーカードまたは電子証明書の取得が必要で。
- 労働保険料の納付は、金融機関の窓口に行かなくても口座振替や電子納付が可能です。

システムに関する問い合わせ

☎050-3786-2225（ビジネスダイヤル）

「電子政府の総合窓口（e-Gov）」の問い合わせフォームからメールで問い合わせすることもできます。



二次元コード



●問い合わせ

徳島労働局 ☎088(652)9143 FAX088(624)0468

薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」

現在、薬物乱用者の低年齢化や、覚醒剤、大麻、危険ドラッグ使用者による犯罪の多発など、薬物乱用問題は深刻化しています。

大麻事犯については、検挙人員の半数以上を30歳未満の若年層が占め、若年層に限っては、覚醒剤より大麻の検挙人員が上回っていることから、若年層における大麻乱用の広がりが懸念されています。

徳島県薬物乱用防止阿波吉野川地区協議会では、薬物乱用をなくすため、国連の「新国連薬物乱用根絶宣言」支援事業として、「ダメ。ゼッタイ。」普及運動を毎年6月20日から7月19日の期間中に「街頭募金活動」および「6.26ヤング街頭キャンペーン」を実施していましたが、今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止します。

大麻は、脳と身体に有害で、依存性のある、国際的に規制されている「危険な薬物」です。決して手を出さないでください。誘惑や間違った情報から自分の未来を守りましょう！

●問い合わせ

吉野川保健所 生活衛生担当 ☎36-9017 FAX22-1760

「善さん」の自治会連合会だより



平成から令和へと時代が変ったこの1年。市自治会連合会では、自治会活動をよりよいものとするため、研修等を通じて、研鑽を積み、交流を深めてきた。そこで、今回はこの1年間の市自治会連合会の活動を振り返ってみようと思う。

●令和元年11月14日・15日、総勢48人の自治会長とともに、愛媛県の大洲市および松山市へ視察研修に訪れた。視察研修は、市自治会連合会発足後、毎年実施しており、私は、今年で7回目の参加となるが、年々、参加人数が減少しており寂しく感じている反面、毎年多くの自治会長と交流や情報交換ができることを楽しみにしている。

1日目は「昨年、西日本豪雨の際、大規模な水害に見舞われながらも地域住民全員の避難を行い、1人の死者も出さなかった大洲市三善地区の活動を学んだ。地域住民みんな考えて作成した防災計画や避難者カード等を活用し、独自の判断で指定避難所から高台の施設へ避難し

たお話をうかがった。自治会加入率が100%とのこと、住民同士の繋がりや重要さを再認識するともに、熱い思いを持って取り組んでおられる自治会長の話に胸を打たれた。

2日目は四国で初めて建設されたという松山市中央浄化センターを見学した。広大な敷地で汚水を浄化させる仕組みについて説明を受け、環境についてあらためて考える機会を得られたことは良い経験となった。

宿泊先での懇親会においては、他の自治会長と自治会での取り組みや悩みなど貴重な話を聞き取らせていただき、非常に有意義な2日間であった。来年はより一層多くの自治会長と視察研修に行けることを楽しみにしている。

●年が明けて令和2年2月18日、吉野川市自治会連合会講演会に参加した。連合会では昨年から講師を招き、自治会の課題解決についての講演会を開催している。今年も昨年に引き続き、東京から水津陽子先生にお越しいただき「自治会活動の先にお手し獲得や育成について」の講演を拝聴した。全国的にも自治会の担い手不足は深刻であるが、頭を切り替え、心を開いて、年齢・性

別・国籍等関係なく、多様な担い手を引き込むことが大切であると学んだ。その後グループに分かれて、他の自治会長と情報交換を行い、日頃の活動内容や悩みを共有した。自治会によっては、独自に「自治会だより」を発行しているところもあり、皆さんの苦労を知ることができて私自身も良い刺激を受けることができた。

●2017年に内閣府が行った世論調査の中で、「望ましい地域での付き合いの程度」の結果を見ると「住民全ての間で困ったときに互いに助け合う」と答えた人の割合は41・5%、「気の合う住民の間で困ったときに助け合う」は26・1%で、6割を超える人が何らかの形で住民同士で困ったときに助け合いたいと思っているという結果が出ている。本来は自治会がこうした住民ニーズの受け皿になるはずだが、現状では自治会活動が十分に理解されていないといえないのかもしれない。多くの人が自治会に加入していた昭和のやり方を、今の時代や住民のニーズに合わせて変えていくことも必要なのかもしれないと思いつつ、今後も地域のために頑張っていこうと決意を新たにしながら令和元年度であった。

おしえて!! 歯医者さん

第49回 ウイルス感染症と口腔ケア

質問 「歯磨きをしっかりとすると、インフルエンザを予防できる」と聞いたのですが本当でしょうか？

回答 インフルエンザは、ウイルスの感染によって起こる病気です。ここでいう「感染」とは、ウイルスがヒトや動物の細胞の中に侵入し、その中で増殖を繰り返す状態の事です。のどの粘膜に付着したインフルエンザウイルスは自身が持つタンパク質の働きにより細胞へ侵入し、ただこのタンパク質に加えて「プロテアーゼ」という酵素がないと、細胞の中に入らなくなり込む事ができません。実は歯周病菌はこれを作る事ができるのです。つまり、不潔で細菌の多い口の中はウイルスに侵入されやすい環境なのです。

また、細胞に侵入したウイルスは次にその細胞の中で自身の「コピー」を大量に作り、体内に拡散をはじめます。その際必要となる「ノイラミニダーゼ」という酵素も、口の中の細菌が作る事ができ、細胞に侵入するだけでなく、ウイルスが増え続けるために必要な手助けもしているのです。実際に、歯科衛生士による専門的な口腔ケアを行う事で、インフルエンザの予防効果を上げる事ができるのです。また、専門的口腔ケアには、誤嚥性肺炎を防ぐ効果もあります。つまり、歯磨きをしっかりと行い、口の中の細菌を減らす事で、インフルエンザの予防効果を上げる事ができるのです。今、世間をにぎわしている新型コロナウイルスもウイルス感染症の一種です。インフルエンザと同様、呼吸器に感染するウイルスとして、感染予防や肺炎の重症化を防ぐためにも、手洗い、うがいはもちろん、毎日の丁寧な歯磨きと歯科医院で専門的口腔ケアを受ける事により、口の中の細菌を減らす事が大切です。



【吉野川市歯科医師会】お口の質問を募集しています。下記までメールまたはFAXでお寄せください。

●お口の質問について(窓口)●

市市長公室 FAX 22-2244 メールアドレス m-koushitsu@yoshinogawa.i-tokushima.jp

7月・8月のがん集団検診のお知らせ

※各検診日の2週間前までに申し込みください。



- 検診の受付時間はそれぞれ異なりますので、申し込みの際に必ずご確認ください。
- 胃がん検診および乳がん検診、腹部エコー検査は1日に受けられる人数に限りがありますので、定数に達した時点で締め切らせていただきます。
- 申し込みをした方には、検診日の1週間前に検診票などを送付します。
- 腹部エコー検査は、以下の日程では単独で実施していませんので、他のがん検診と一緒に申し込みください。

日程	場所	検診項目	午 前							特定健診		
			胃	大腸	腹部エコー	乳	前立腺	肝炎	骨		肺	ピロリ
7月 1日	水	山川公民館	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
*7月 4日	土	吉野川市役所(東館)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
7月 10日	金	鴨島公民館	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
8月 21日	金	川島公民館	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

*7月4日は定員に達しましたので申し込みを締め切りました。他の検診日も定員間近です。お早めに申し込みください。

がん検診などの詳細については、5月に各家庭に配布の「令和2年度がん検診等のお知らせ(保存版)」もしくはホームページ、広報よしのがわ3月号をご確認ください。

●問い合わせ・申し込み 市健康推進課 ☎22-2268 FAX22-2245

がんを防ぐための新12カ条 2条 他人のたばこの煙をできるだけ避ける

がんを防ぐための新12カ条 1条 たばこは吸わない